

外部専門家連携だより

No.3

～TASUC（株）齊藤宇開先生による授業観察～

齊藤先生には、5月から小学部と中学部を中心に授業観察をしていただいています。

通常の授業観察型アセスメントのカンファレンスでは、観察をしたクラスの担任のみですが、齊藤先生の授業観察では、学年全員がカンファレンスに参加し、学年内で指導や支援方法、児童・生徒のケースについて共通理解を図る場としています。また、個々の児童・生徒のケース相談も実施しております。

齊藤先生の来校日も今年度は残り3回となりました。今後も授業観察を通して指導や支援方法についての改善を図っていき、教員一人一人の専門性を高めていきます。



学年カンファレンスの様子
(小学部2年生)



番組紹介 NHK「でこぼこポン！」

外部専門員としてお越しいただいている、神奈川県立保健福祉大学教授の笹田哲先生から御紹介いただいた、NHK「でこぼこポン」という番組をお知らせいたします。

笹田先生は、この番組の「おしゃべりを“見る”発明品」という回で、聴覚過敏について番組制作に携わっております。「資料」の欄では、笹田先生の解説もあり、“聴覚過敏からくる不安、恐怖心を理解することが大切”ということが記載されています。番組内では、個人差はありますが、実際に聴覚過敏のある子がどのように聞こえているのかを疑似体験することができ、聴覚過敏のある子の理解につながる内容となっております。

この番組では、聴覚過敏だけではなく、「新規場面に対する不安」や「予定の変更」など、発達に気になる子の支援のヒントとなる内容となっております。この機会に、ぜひ御視聴ください。

